

Relay G30/50/90 デバイス・ファームウェア 2.0 アップデート

Relay G30/50/90 デバイス・ファームウェア 2.0 アップデート

このリリースは、Relay G30/G50/G90 システムを所有し、Line 6 の RF2 モード製品との互換性を必要とするユーザーに推奨されます。G30/G50/G90 システムで RF2 モードを使用した場合、以下のようなメリットがあります：

- 2.4GHz 帯で動作している他の機器への影響の低減
- XD-V75 や XD-V55、XD-V35 など他の RF2 機器との互換性

注:このアップデートを行うにはXD-V75のレシーバーが必要です。XD-V75のレシーバーを用意できない場合は、ティアック修理センターにて有償アップデートを行っておりますので、ご相談ください。TBP12 トランスミッターをMonkey 経由でアップグレードするには、ファームウェア v1.03 以降がロードされている必要があります。それ未満のバージョンのファームウェアがインストールされている場合は、カスタマーサポートにて対応致します。

Line 6 製品の修理に関するお問い合わせ：

ヤマハ修理ご相談センター

https://jp.yamaha.com/support/contacts/av_pa/line6_notes/line6/index.html#repair

Line 6 製品の使い方や技術的なお問い合わせ：

https://jp.yamaha.com/support/contacts/av_pa/line6_notes/line6/index.html

現在インストールされているファームウェアのバージョンの確認方法:

- Relay G30 ボディパック
 - チャンネル・スイッチをチャンネル 1 へスライドしてから Relay G30 ボディパックの電源を入れます。
 - LED の点滅が終わったら、すぐにチャンネル・スイッチを 1 から 6 へ動かし、それを 1 に戻すという動作を 3 回繰り返します。(1→6→1→6→1→6)
 - オーディオ LED が、バージョン・ナンバーの数だけ点滅します。緑が整数、赤が小数ですので、例えば v1.02 の場合は緑が 1 回、赤が 2 回点滅します。

Relay G30/G50/G90 レシーバーのアップデート方法

- XD-V75 のレシーバーを用意します。
- XD-V75 のレシーバーを、USB ケーブルで PC または Mac へ接続します。
- XD-V75 の DC 電源コードを一度外し、再度接続すると、ディスプレイに“Loader Enabled”と表示されます。
- TRS-to-TRS (ステレオ) 1/4” フォーン・ケーブルで XD-V75 のレシーバーと G30/G50/G90 のレシーバーを接続します。XD-V75 と G30/G50/G90 の両レシーバーの 1/4” オーディオ出力にケーブルが挿された状態になります。
- Line 6 Monkey を起動してログインを行い、デバイスへ“Relay G30/G50/G90”を選択して、その後はディスプレイに表示される指示に従ってください。

Relay G30/G50/G90 トランスミッターのアップデート方法

- XD-V75 のレシーバーを用意します。
- XD-V75 のレシーバーを、USB ケーブルで PC または Mac へ接続します。
- XD-V75 の DC 電源コードを一度外し、再度接続すると、ディスプレイに“Loader Enabled”と表示されます。
- Line 6 Monkey を起動して、次にログインを行い、デバイスへ“Relay G30 Transmitter (1.0)”を選択して、その後はディスプレイに表示される指示に従ってください。
- 注:ファームウェア・バージョン 1.0 の G30 トランスミッターのユーザーは、トランスミッターを接続するために Line 6 Monkey で必ず“Relay G30 Transmitter (1.0)”を選択してください。ファームウェア 1.01 以降の G30 トランスミッターをお使いの場合は、Line 6 Monkey で“Relay G30 Transmitter”を選択します。

***トランスミッターのアップデートに関して: アップデート時に理想的なデータ・コミュニケーションを行うための、XD-V75 レシーバー上へのトランスミッターの置き方は [こちらの書類](#) をご覧ください。